

SUBWAY NEWS LETTER 7

回覧



さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会 第16号

浦和美園駅から岩槻駅へ地下鉄延伸実現に向けて

事業報告



目白大学理事長とのまちづくり懇談会を開催

5月14日(火)、目白大学新宿キャンパスにてまちづくり懇談会を開催いたしました。目白大学の尾崎理事長、埼玉高速鉄道株式会社の荻野社長、当期成会の江田会長、さいたま商工会議所の佐伯前会長が出席し、地下鉄延伸並びに岩槻のまちづくりについて意見を交わしました。

尾崎理事長から、岩槻キャンパスはもともと地下鉄7号線の延伸を前提として設立したという経緯が説明され、「東京23区内の入学定員数が制限されている現状からも、延伸を熱望している」とのお話をいただきました。

佐伯前会長は「延伸事業化においても、それに伴うまちづくりにおいても、目白大学の協力は必要不可欠である。目白大学前駅(仮称)の実現に向けて引き続き歩調を合わせていきたい」と述べられました。延伸地域の魅力あるまちづくりのための、有意義な意見交換となりました。



懇談会の様子

事業報告



さいたま市、さいたま市議会へ要望書を提出

10月24日(木)、地下鉄7号線延伸について、本年度内の国への事業認可申請着手を強く求める要望書をさいたま市清水市長ならびにさいたま市議会渋谷議長に提出しました。期成会から江田会長、さいたま商工会議所から佐伯前会長、高橋副会長が出席しました。

当日は当期成会から要望書を提出すると共に、学校法人目白学園からも鈴木事務局次長に同行いただき、5月に行われたまちづくり懇談会での意見を盛り込んだ要望書が提出されました。

当期成会の要望内容

1. 都市鉄道等利便増進法の確実な適用に向け、中間駅周辺の具体的なまちづくり計画の策定
2. 延伸関係自治体や鉄道事業者等による「協議会」の早期設置と事業化に向けたタイムスケジュールの明確化
3. 令和2年2月に開館予定の「岩槻人形博物館」及び「にぎわい交流館いわつき」の敷地内への地下鉄7号線延伸事業化の早期実現を周知する看板の設置

目白大学の要望書内容(抜粋)

地方大学振興法により東京23区内の入学定員増が抑制されている状況を受け、さいたま岩槻キャンパスの定員増や新学部の設置計画を進めている。

バス会社と交渉を重ねた結果、バスの本数は増加したが多少改善されたに過ぎず、国家試験対策等のため夜遅くまで勉強をしている学生の安全や利便性、臨時バスの手配等、問題は多い現状である。

地下鉄7号線が岩槻駅まで延伸され、目白大学の徒歩圏に駅が新設されれば、交通手段の問題の解決に加え、学生の増加により地域のにぎわい創出や魅力の向上にも貢献できる。

以上の問題解決のためにも、地下鉄7号線延伸の早期事業化に向け、格別なるご高配を賜りたい。



市長へ提出



議長へ提出

事業報告 地下7期成会



夏～秋イベントで啓発活動

今年も夏から秋にかけての岩槻区内イベント会場にて、地下鉄7号線延伸地域「散策マップ」や啓発用ポケットティッシュなどをお配りし、地下鉄7号線の早期実現に向けての啓発活動を行いました。



2019年人形のまち岩槻まつり 8/18日



第5回いわつきマルシェin目白大学 10/27日



第7回城下町岩槻鷹狩り行列 11/3日



第7回 城下町岩槻鷹狩り行列



第7回 城下町岩槻鷹狩り行列

地下鉄7号線とは?

目黒～赤羽岩淵～浦和美園(35.9km)からなる東京メトロ南北線と埼玉高速鉄道線(SR)の総称で、東京メトロ南北線、埼玉高速鉄道線(SR)、東急目黒線の3路線が相互直通運転をしています。



さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会



一期成会とは

「地下鉄7号線の延伸」を「オールさいたま」で応援する組織です。主に自治会、経済界、沿線大学、スポーツ界等の幅広いメンバーで構成されています。

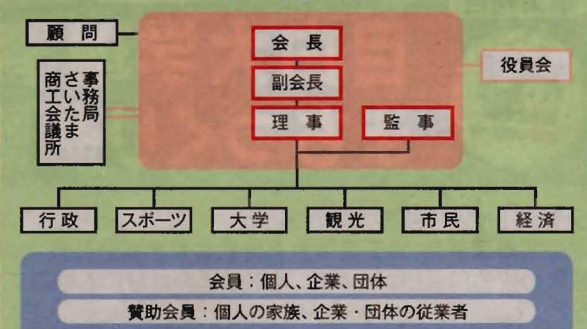
一期成会が行うこと

1. 調査・検討事業を行ない、さいたま市へ事業提案をいたします。
2. 埼玉高速鉄道(SR)の利用促進に向けた事業を行います。
3. 講演会やイベントなどで、延伸実現に向けたPR活動を行います。

一期成会に加入するには

趣旨に賛同される方であれば個人・企業問わず、どなたでもご加入頂けます。会費は、個人の方は年千円から、企業の方は年一万円からとなります。また、ご加入をいただいた個人の方のご家族、企業等の従業員の方は、賛助会員としてご加入(会費無料)できます。詳細につきましては、期成会事務局のさいたま商工会議所にご連絡ください。

組織図



ご案内 延伸エリアのイベント

第17回 人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり

3月3日は雛まつり。人形のまち岩槻で「雛めぐり」を楽しみませんか。岩槻は室町時代から栄えた城下町で、日本一高い人形の産地です。

今も数多く活躍する職人さんたちの作品や、商家に伝わる古い人形などを数多く飾ります。「観る」「創る」「食べる」をテーマに様々な企画が盛りだくさんです。

- 開催日 / 2月22日(土)～3月8日(日)
- 会場 / 岩槻駅東口周辺商店街
- 主催 / 人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会
- 問合せ / 実行委員会事務局 TEL.070-1535-8177

おひな様パレード

- 開催日 / 2月22日(土)・3月1日(日)両日とも13:00～
- 会場 / 岩槻駅前クレセントモール

雛めぐりフォトコンテスト

- 撮影期間 / 2月22日(土)～3月1日(日)
- 応募締切 / 3月4日(水)まで 郵送・持込可
- 表彰式 / 3月8日(日)

※詳細は応募規定によります。

鉄道今昔物語

第13話

令和二年

みなさま、あけましておめでとうございます。



令和二年が始まりました。最近では元号よりも西暦を使うことが多くなりましたが、お正月は、やはり元号で決めたいものです。

そして、今年の干支は十二支で最初の子である(ねずみ)。ねずみは、繁殖力が強く、スグに増えるということから、縁起物でもあります。

さて、今年の大きな話題としては、世界的なスポーツイベントであるオリンピック・パラリンピックが開催されます。その中でサッカー競技の一部が、浦和美園駅近くの埼玉スタジアムで行われます。

サッカー競技の人気度から、恐らくは世界中から非常に多くのお客さまが、埼玉高速鉄道線沿線にお出でになることかと思われます。また、最近の傾向では、単に競技を観に来るだけでなく、その土地の「人との交流」や「食べ物」などを楽しむことが多いそうです。

今2020大会を、新たな踏み台のひとつとして、埼玉高速鉄道線の岩槻・蓮田延伸を是非推進していきたいものです。

その埼玉スタジアムまでですが、浦和美園駅から徒歩ですと、歩行

者専用道路で約1.2km。できれば、今大会に併せて、せめて「埼玉スタジアム」まで延伸するか、浦和美園車両基地内に「臨時駅」を設置できれば、埼玉高速鉄道線の有用性の一部を、内外にアピールできたと思われる。

残念ながら今回はお預けのようですが、埼玉スタジアムでは、Jリーグのゲームも行われていますので、今後に期待したいと思います。

また逆に、今大会の観戦者の方々から「延伸したほうが良い」との声が各方面に及べば、岩槻・蓮田への延伸に拍車がかかるかも知れません。

冒頭にも述べましたが、今年の干支ねずみは、「増える」という縁起物であります。

どうか、埼玉高速鉄道線の営業距離が「増える」ことを、願わずにはられません。それは、岩槻・蓮田への延伸を意味するからです。本年もよろしくお付き合い下さい。



著者紹介

鉄道ジャーナリスト
わたなべ しえ
渡部 史絵氏

2006年より公式に鉄道のお仕事を開始。鉄道の有用性や魅力を発信するため、鉄道に関する書籍の執筆や監修に日々励む。月刊誌や新聞等の連載や寄稿など執筆活動を主体に、国土交通省をはじめ、行政や大学、鉄道事業者にて、講演活動等も多々行っている。

著書に、『東京メトロ 知られざる超絶!世界』(河出書房新社)、『関東私鉄 デラックス列車ストーリー』、『電車の進歩細見』、『首都圏地下鉄の秘密を探る』、『鉄道なぜにブック』、『進化する路面電車』(交通新聞社)、『写真で振り返るJRダイヤ改正史』(飛鳥出版)、『譲渡された鉄道車両』、『路面電車の謎と不思議』(東京堂出版)、『鉄道のナゾ謎100』、『鉄道のナゾ謎99』、『思い出の昭和50年代 国鉄特急』(ネコ・パブリッシング)など、多数。

公式ブログ <http://ameblo.jp/shie-rail>
公式ツイッター <https://twitter.com/shierail>



「地下鉄7号線延伸」を目指して! 浦和レッズの署名活動を支援

埼玉スタジアム



浦和レッドダイヤモンズ(株)は、地下鉄7号線延伸の採算性等が都市鉄道等利便増進法適用の一般的な目安をクリアしたという発表を踏まえて、埼玉スタジアム2002へのアクセスの混雑緩和と利便性向上のために、令和元年6月15日(土)から12月8日(日)までの期間、浦和レッズのホームゲーム等が行われる日程で、『地下鉄7号線延伸』及び『埼玉スタジアム駅等の設置』を要望する請願署名活動を埼玉スタジアム2002にて行われました。

当期成会も、同日より上記署名活動の支援といたしまして、埼玉高速鉄道(株)にもご協力いただき、浦和美園駅構内での署名活動を行いました。

集まった署名数は累計で約24,000筆。延伸地域にお住いの方々だけではなく、浦和レッズサポーター及びビジターの方々からも、多くの署名をいただき、さいたま市民のみならず、さいたま市外や埼玉県外からお越しになるサッカー観戦者からも「ぜひ延伸してほしい」「駅が出来たらとても便利」と力強い応援の声もいただき、強く延伸を望む結果が表れました。

「サッカーのまち さいたま」として、サッカーを観戦しに来られる方々に快適な時間を提供するためにも、1日でも早い地下鉄7号線延伸の事業化申請への決断を求めてまいります。



署名をいただいた請願事項

1. 国への地下鉄7号線延伸事業の認可申請の実現
2. 地下鉄7号線延伸の事業着手の実現(アクセス性向上・分散化)
3. 埼玉スタジアム駅をはじめとする中間駅設置計画等の策定(利便性向上)